

教育予算の拡充を求める意見書

学校現場では、解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを実現するための教育研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっています。特に小学校においては、新学習指導要領の移行期間中であり、外国語教育実施のため授業時間の調整などの対応に苦慮しています。ゆたかな学びの実現のためには教職員の定数改善などの施策が最重要課題です。また、学校現場においては、長時間労働是正に向けて教職員の働き方改革が進められようとしていますが、改革を実現するためにも定数改善は欠かせません。

しかし、義務教育負担制度については、「三位一体改革」の中で国庫負担率が大幅に引き下げられました。厳しい財政状況の中、独自財源により人的措置等を行っている地方自治体もありますが、このことは自治体間の教育格差が生じることにもなりかねません。子どもたちが全国どこに住んでいても、一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請です。

子どもたちの豊かな学びを保障するための条件整備及び教職員の定数改善等に向けた財源保障を2020年度政府予算編成において実現されるよう、下記事項の実現を要請します。

記

- 1 計画的な教職員定数改善を図ること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担率の引き上げを図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和元年6月14日

福岡県八女市議会

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、財務大臣、

総務大臣、文部科学大臣